

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
第 26 期（2025 年 7 月～2026 年 6 月）通常総会
議案書

第 1 号議案 第 25 期（2024 年 7 月～2025 年 6 月）事業報告
第 2 号議案 第 25 期（2024 年 7 月～2025 年 6 月）決算報告
第 3 号議案 第 26 期（2025 年 7 月～2026 年 6 月）事業計画
第 4 号議案 第 26 期（2025 年 7 月～2026 年 6 月）予算
第 5 号議案 役員選任
第 6 号議案 事務局の組織・運営

日時：2025 年 8 月 17 日（日）16:00～17:30

場所：はまどま（横浜市南区宿町 2-40-119）

第 1 号議案 第 25 期事業報告（2024 年 7 月～2025 年 6 月）

第 25 期は、全主催事業への参加者数が、のべ 2,650 名と過去最多となった（21 期 2,270 名→22 期 2,459 名→23 期 2,669 名→24 期 2,427 名）。昨期からの増加要因に着目すると、「NORA の山仕事」（405 名→562 名）、「森と畑と音楽と」（475 名→543 名）、「トンボ取り大作戦」（380 名→461 名）が挙げられる。また、「もったいないから竹細工」では、竹細工職人を招いての特別なワークショップを開催し、「間伐材を活かすグリーンウッドワーク」では、ワークショップ開催時に自主活動もおこなうなど、定例的な活動でも新しい展開に取り組むことができた。

「はまどま」に関しては、「街なかの土間企画応援」事業として、コーディネーターを中心にパートナーとなる人・団体と調整し、4 つの企画を実施することができた。今後も新しい企画が予定されており、従来よりも多様な人・活動に場を開いていくというねらいが少しずつ実現されてきた。

収支については、受託事業収入は堅調であったが、11 期ぶりに赤字となった。予算に対する助成金収入が少なかったのに、支出について十分に管理できなかったことが原因であった。来期は、理事長の交代を予定しているので、あわせて予算管理の仕組みを見直したい。

自主事業

里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

1. ヤマ事業

1) NORA の山仕事

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）において、「森の中で憩える空間」づくりを継続的におこなっている。第 25 期は、森に隣接する県立旭高校外周道路に設置したウッドデッキを補修するために、林内にて間伐材の加工設備の補修作業をおこなった。

毎月第 2・第 4 日曜日の定例活動では、参加者数がのべ 500 名（昨期 358 名）となり、メンバーの定着・増加がみられた。森づくり活動のレベルアップを図るステップアップ研修には、4 期生 9 名が参加し、最終審査に向けて 6 名が自主練習に励んでいる。「やま守り編」は、のべ 52 名（昨期 47 名）の参加者を集めた。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/14（日）	間伐材の製材、運材、資材加工、設備補修	19	1
7/28（日）	製材、運材、資材加工、設備補修	18	1
8/11（日）	外周フェンスのつる外し、越境枝の切り戻し	11	-
8/25（日）	立ち枯れ木の除伐、ロープワーク①	22	1
9/8（日）	ロープワーク②、越境枝の切り戻し、運材、除草	17	1
9/22（日）	研修、越境枝の切り戻し、運材、除草（機械・人力）	21	1
10/13（日）	風倒木処理、製材、機械人力除草	17	1
10/27（日）	設備補修、遊歩道の整備	15	1
11/10（日）	ステップアップ研修、立ち枯れ木など除伐、運材	22	1
11/24（日）	立ち枯れ木など除伐、薪割り	18	1
12/8（日）	フォローアップ研修、薪割り、皮むき、伐木	27	1

12/22 (日)	チェーンソー取り扱い講習、大掃除	23	1
1/12 (日)	ステップアップ研修、危険木の除伐、遊歩道の整備	25	1
1/26 (日)	ステップアップ研修、危険木の除伐、遊歩道の整備	26	1
2/9 (日)	ステップアップ研修、遊歩道の整備	21	1
2/23 (日)	ステップアップ研修、遊歩道の整備	28	1
3/9 (日)	ステップアップ研修、遊歩道の整備	18	1
3/23 (日)	ステップアップ研修、遊歩道の整備	18	1
4/13 (日)	森づくり計画WS、新治	16	1
4/27 (日)	ステップアップ研修、ホダ木菌コマ打ち	20	1
5/11 (日)	デッキ解体、研修資材回収、植栽管理	26	1
5/25 (日)	ステップアップ研修、設備補修（デッキ、階段、林内デッキ床）	12	1
6/8 (日)	設備補修（焼き場・デッキ）、資材加工、機械除草、植栽管理	18	1
6/22 (日)	資材加工（太鼓落とし、焼き材、板材）、機械・人力除草、皮むき	19	1

477

23

【やま守り編】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
8/6 (火)	設備補修（焼き場土留め）	0	1
9/15 (日)	設備補修（焼き場土留め）	0	1
10/1 (火)	チップ化作業、焼き場土留め作業	13	1
10/2 (水)	チップ化作業、焼き場土留め作業	8	1
12/5 (木)	焼き場の土留め施工	0	1
12/10 (火)	焼き場の土留め施工	0	1
1/4 (土)	防鳥ネット&支柱補修	0	1
3/1 (土)	設備補修（焼き場土留め補修）	0	1
4/9 (水)	設備補修（焼き場ブロック施工）	0	1
4/16 (水)	設備補修（焼き場ブロック施工）、自主練、タケノコ駆除	1	1
4/19 (土)	筍の駆除、自主練、設備補修	12	1
5/1 (木)	設備補修（焼き場ブロック施工）	0	1
5/29 (木)	設備補修（焼き場ブロック施工）	0	1
6/1 (日)	設備補修（焼き場ブロック施工）、備品整理	4	1

38

14

2) 竹を活かす山仕事

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大し、農地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月1回、中井町でお世話になっている農家とその親戚が所有する民有地で竹林を整備した。なお、7～9月は

酷暑を避けて休止期間とした。

第 25 期も「もったいないから竹細工」の事業収入によって運営費用を捻出できた。定例メンバーに入れ替わりはあるものの、参加者は少しずつ定着してきている。第 25 期の参加者数は、のべ 67 名（昨期 76 名）であった。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
10/20（日）	竹林整備、材の伐り出し	7	1
11/17（日）	竹林整備、材の伐り出し、	6	1
12/15（日）	竹林整備、材の伐り出し	10	1
1/19（日）	竹林整備、材の伐り出し	5	1
2/16（日）	竹林整備、材の伐り出し	6	1
3/30（日）	竹林整備、材の伐り出し ※3/16（日）雨天のため順延	4	1
4/20（日）	竹林整備、材の伐り出し、タケノコ掘り	8	1
5/18（日）	竹林整備、材の伐り出し	7	1
6/15（日）	竹林整備、材の伐り出し	5	1

58 9

3) よこはま里山レンジャーズ（連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会（NAREC））

本事業は、里山保全活動を始めようとする主として若い世代と、活動支援を必要としている既存の活動団体とをつなぐマッチングプログラムである。NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したボランティア「レンジャー」（4993 名、2025 年 3 月 31 日時点）に対し出動要請（受入団体と活動内容が調整された活動予定）が発信される。レンジャーズ隊員は出動要請に返信するだけで活動に参加することができる。活動当日は 10～15 名程度のレンジャーが集まりリーダーの誘導のもと受入団体の活動に参加する。このため一人でも安心して参加することができる。

第 25 期は、市内 5 か所のフィールドにおいて 5 回の活動を実施し、参加者数は 34 名（昨期 5 回実施、35 名参加）であった。

回	実施日	実施場所	受入団体	参加者
1	11/3（日）	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	5
2	12/21（土）	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト	4
3	2/9（土）	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	8
4	3/8（土）	谷矢部池公園	わかぎの会／谷矢部池公園愛護会	5
5	6/7（土）	元町公園プール	横浜にとんぼを育てる会	12

34

4) 間伐材を活かすグリーンウッドワーク

（令和 6 年度「緑の募金」公募事業「都市の里山資源の活用推進事業」）

NORA が目指す「かつての里山のように暮らしと里山との距離を近づける」ための活動として、グリーンウッドワーク（生木を手道具で削って作る木工）により川井緑地の保全活動で産出する間伐材等の里山資源の活用推進を図った。

第 25 期は国土緑化推進機構「緑の募金」の助成を得て、原則第 3 日曜日に新治里山公園内で講師から学ぶワークショップを 11 回開催し、同時にワークショップ参加者による自主的な活動（工房）を 10

回開催した。参加者数はワークショップ 45 名、工房 20 名の 65 名（昨期は合計で 48 名）であった。

【ワークショップ】

回	実施日	内容	参加者	自主活動参加者
1	9/15（日）	スプーンづくり	3	—
2	10/13（日）	へら、スプーンづくり	7	1
3	11/17（日）	スプーンづくり	5	1
4	12/15（日）	ミニサンタづくり	2	3
5	1/12（日）	スツールづくり	2	2
6	1/13（月祝）	スツールづくり	2	2
7	2/16（日）	スツールづくり	1	2
8	3/29（日）	我谷盆づくり	9	0
9	3/30（日）	我谷盆づくり	9	3
10	4/20（日）	豆皿づくり	2	4
11	5/17（日）	スプーンづくり	3	2
			45	20

5) 安全で楽しい里山保全活動を指導できるリーダー養成

（令和 6 年度「緑と水の森林ファンド」助成、主催：モリダス）

モリダスは、横浜・多摩地域で森林づくり・里山保全活動を実践してきた市民が、適切なメソッドを持って人材育成を図る必要性を感じ、2018 年 3 月に設立した任意団体である。NORA は、モリダス主催のリーダー養成事業を共催するかたちで緊密に連携を図っている。

第 25 期も「緑と水の森林ファンド」から助成金を得て、モリダス主催事業「安全で楽しい里山保全活動を指導できるリーダー養成」を共催した。今期は、里山保全活動をネイチャーポジティブ（自然再興）に向けて進めることを意識して講座を企画し、参加者数は 95 名（昨期 147 名）であった。なお、モリダスは今期で活動休止を予定している。

実施日	実施場所	タイトル	参加者	スタッフ
2/23（日） 2/24（月祝）	長池公園	森の手入れ・里山整備の基本を一から学ぶ実践講座～手道具（鋸・鉋・鎌・剪定鋏）の扱い方（講師：関美知夫さん）	8	2
3/20（木祝）	長池公園	里山のネイチャーポジティブ実践講座（早春編）～雑木林の再生とビオトープづくり（講師：小林健人さん、片山敦さん）	11	2
6/7（土） 6/8（日）	にいはる里山 交流センター	安全に楽しく作業するための現場リーダー研修（講師：志賀壮史さん）	5	1
6/1（土）	多摩市立グリーン ライブセンタ ー	みんなで取り組む里山のネイチャーポジティブ特別講座～地域性苗木づくり＋近自然工法の道づくり（講師：遠藤良太さん、辻本明さん）	16	2
6/27（金）	オンライン	多摩丘陵の里山フォーラム夜会（出演者：田村薫さん、小林健人さん、後藤洋一さん、吉武美保子、松村正治）	47	1

87

8

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と

丹沢東麓に位置する厚木市・伊勢原市の里山における活動で、2014年にスタートし第25期で11年目を迎えた。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために「自然の中での様々な活動を通じて幅広い年齢層・異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動をおこない、持続するシステムをつくろうと考えている。

第25期の特徴は、以下のとおりである。

畑：畑の維持管理の点では、ラジコン草刈り機を導入し負担の軽減を図った。また、第24期からお願いしている、ニンニクを定期的に置かせてもらえる場所以外に、飲食店での利用も確保しつつある。

水田：米づくりを始めて9年目を迎えた。第20期から導入した紙マルチを今期も導入した。田植えイベントの募集人数の拡大、暑さによる雑草の繁茂等の理由から、草取りイベントの日程を9月上旬(23期)から8月下旬(24期)→8月上旬(25期)と前倒しした。粃摺り精米機の導入により、粃の状態から自前で精米までできるようになった。これまでのイベント参加者から、「稲作を自分でやってみたい。」という相談が2件あったため、休耕地4畝、耕作放棄地7畝をそれぞれ仲介し、サポートする形でプロジェクトが進行している。

イベント：第24期から、これまでイベント会場として借用していたスペースの管理主体となったことにより、音楽イベントやBBQ、焚火体験など、様々なアイデアが提案されている。実際に、ソロキャンプ、数名での合宿、少人数でのBBQ等に貸し出し、収穫祭も実施した。また、利便性向上のため敷地内に簡易トイレの設置をおこなった。

第25期の活動日は計54日(16期77日→17期72日→18期63日→19期37日→20期56日→21期41日→22期27日→23期45日→24期48日)で、第24期と比べて6日増えた。夏季の暑さから、7～9月の活動を縮小したため、その前後での準備等に労力が集中し、負担が大きかった。参加者のべ人数は543名(16期494名→17期367名→18期281名→19期258名→20期326名→21期246名→22期244名→23期445名→24期479名)となっており、これまでで最も多くなった。これは、田植えイベントにおける草取りをイベントとして位置づけたこと、収穫祭の他に交流イベントを設定したことのほか、新規稲作実践者へのサポートによるものだと考えられる。今後は運営面での専従スタッフを配置できる仕組み作りを検討していきたい。

実施日		回	活動内容	参加数
7月	13(土) 20(土)	2	畑草刈り、水田草刈り、畑草刈り※田んぼ水見回りは毎日、キーホルダー作り	3
8月	11(日) 25(日) 31(土)	3	畑草刈り、ヒョウタン収穫、田んぼ点検、キーホルダー作り、水田草取りイベント参加者66人(大人39、こども27)、かかし設置	76
9月	23(月) 29(日)	2	畑の草刈り、耕耘、稲刈り準備	5
10月	13(日) 20(日) 26(土)	3	木工、キーホルダー作り、稲刈り準備、水田草刈り、稲刈り参加者14人(大人9、こども5)、かかし撤収、粃摺り、稲刈りイベント(稲刈り、ハザカケ、脱穀)参加者52名(大人30、こども22)、畑耕耘、ニンニク・タマネギ・レタス植え	69

11 月	3 (日) 10 (日) 16 (土) 17 (日) 24 (日) 28 (木) 29 (金) 30 (土)	8	粃摺り・精米、畑耕耘、草刈り、レーザー彫刻、藁焼き料理 10 人 (大人 5、こども 5)、キーホルダー作り、木工、大根収 穫、レモン・ミカン・カキ収穫、果樹苗植え、倒木伐採、蔓 細工、ニンニク施肥、藁引き取り	25
12 月	5 (木) 7 (土) 14 (土) 15 (日) 21 (日)	5	レーザー加工、大根収穫、粃摺り、アクセサリー作り、宇宙 芋収穫、収穫祭イベント (精米、調理等、レーザー彫刻) 参 加者 66 人 (大人 39、子ども 27)	74
1 月	12 (日) 19 (日) 26 (日)	3	チューリップ球根植えつけ、クラブハウス草刈り、金柑収穫、 スギ倒木伐採、ニンジン収穫、薪窯料理、田んぼ片付け、畑 作業、ミカン収穫、BBQ 兼イベント準備 (薪割、大根収穫、 ラジコン草刈機)、ワラ・ハザカケ棹撤収	23
2 月	11 (火) 16 (日) 22 (土)	4	イベント準備 (草刈り、竹細工)、田んぼ耕耘、田んぼ畦修復、 BBQ・音楽イベント 67 人 (大人 37、こども 30)	77
3 月	7 (金) 16 (日) 22 (土) 27 (木) 28 (金)	5	キーホルダー作り、果樹苗植え、野菜収穫、田・畑の耕耘、 レーザー彫刻、畑の草刈り、子どもキャンプ体験 47 人 (大人 7、こども 40)	55
4 月	5 (土) 12 (土) 19 (土)	3	野菜収穫、ニンニク施肥、キーホルダー作り、新規田んぼ (七 沢) 水路調査	9
5 月	3 (土) 4 (日) 8 (木) 10 (土) 18 (土) 21 (水) 25 (日) 29 (木)	8	BBQ、用水路清掃、クラブハウス草刈り、野菜収穫、キーホ ルダー作り、水田耕耘、畑耕耘、草刈り、ニンニクの芽・ニ ンニク収穫、新田んぼ (七沢) 代掻き・田植え指導、ソロキ ャンプ	40
6 月	1 (日) 8 (日) 14 (土) 15 (日) 18 (水) 22 (日) 23 (月) 29 (日)	8	ニンニク収穫、水田草刈り、水の引き込み、代掻き、畑耕耘・ 草刈り、稲苗準備、田植え体験イベント 59 人 (大人 36、こ ども 23)、新田んぼ水路作り・代掻き・田植え、クラブハウ ス草刈り、竹伐り、精米、種まき	87

54

543

持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2025 年 6 月で 16 年が経過した。今期は、はまどまコーディネーターを中心に「街なかの土間企画応援」に取り組み、4 つの企画を実施することができた。「もったいないから竹細工」では、今期も定例活動を実施して多くの参加者を集めたほか、竹細工職人を講師に迎えた特別なワークショップを開催して好評を得た。

宮宿花 1・2 丁目町内会、大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」などへの参加により、地域との信頼関係を深めることができた。これからも、必要な人に広報を届けながら、街なかの里山の入り口として、近隣の方々の暮らしの場として、「はまどま」が活用されることをめざす。

(1) もったいないから竹細工

里山では手入れされない竹林が生い茂り、邪魔物として扱われている。かつて有用だった竹を生かさないのはもったいないので、竹林整備の際に出てくる竹材を有効に生かすために竹細工を製作している。

毎月第 4 土曜日開催の竹かご教室では、講師に指導を受けながら全 10 回で六つ目編みを基本とした竹かご 5 作品をつくる。第 1 水曜・第 2 土曜・第 3 木曜・第 4 月曜日開催の竹細工工房では、竹かごを編むための竹ひごの準備のほか、竹へら・菜箸・パスタフォークなど（カトラリー）、さまざまな食器もつくっている。

第 25 期では、大分県別府市で活動している竹細工職人を講師に招き、8 月・9 月・1 月にワークショップを開催した。第 25 期の参加者数は、竹かご教室のべ 38 名（昨期 47 名）で、竹細工工房はのべ 471 名（昨期 596 名）、自主練習はのべ 75 名（昨期 94 名）、ワークショップは 51 名、合計のべ参加者数は 635 名（昨期 686 名）となり、そのうち一般会員への入会者数は 71 名（昨期 63 名）であった。

【竹かご教室】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/27（土）	3	1	1/25（土）	6	2
8/24（土）	2	1	2/22（土）	0	0
9/28（土）	4	1	3/22（土）	3	1
10/26（土）	1	1	4/26（土）	-	-
11/23（土）	3	1	5/24（土）	-	-
12/28（土）	3	1	6/28（土）	3	1

28 10

【竹細工工房】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/3（水）	8	3	1/8（水）	7	2
7/13（土）	8	3	1/11（土）	11	3
7/18（木）	8	4	1/16（木）	9	3
7/22（月）	7	4	1/27（月）	5	3
8/7（水）	5	2	2/5（水）	7	2
8/10（土）	10	3	2/8（土）	10	3
8/15（木）	-	-	2/20（木）	10	3
8/26（月）	8	3	2/24（月）	9	3
9/4（水）	10	2	3/5（水）	10	3
9/14（土）	10	3	3/8（土）	10	3
9/19（木）	6	3	3/20（木）	10	3
9/23（月祝）	4	3	3/24（月）	5	3
10/2（水）	6	2	4/2（水）	6	2
10/12（土）	11	3	4/12（土）	13	3
10/17（木）	5	3	4/17（木）	10	3
10/28（月）	9	3	4/28（月）	11	3
11/6（水）	9	3	5/7（水）	3	1

11/9 (土)	11	3	5/10 (土)	10	3
11/21 (木)	8	3	5/15 (木)	9	3
11/25 (月)	7	3	5/26 (月)	8	3
12/4 (水)	8	2	6/4 (水)	5	2
12/14 (土)	7	3	6/14 (土)	10	3
12/19 (木)	8	3	6/19 (木)	11	3
12/23 (月)	7	3	6/23 (月)	8	3
			350	121	

【自主練習日】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/6 (土)	9	2	1/4 (土)	-	-
8/3 (土)	6	2	2/1 (土)	8	1
9/7 (土)	5	2	3/2 (土)	5	2
10/5 (土)	3	1	4/5 (土)	4	1
11/2 (土)	5	2	5/3 (土祝)	3	1
12/7 (土)	5	2	6/7 (土)	5	1
			58	17	

【特別なワークショップ】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
8/31 (土)	10	2	1/25 (土)	11	2
9/3 (火)	10	2	1/28 (火)	12	2
			43	8	

(2) はまどまで土間仕事

土間仕事は、味噌づくりと梅の手仕事を中心となっている。毎回多くの参加者に来ていただき「心からおいしい」を体験できるので、今後も続けてほしいという感想をいただいた。今後は、ほかの食材の土間仕事も検討している。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
5/17 (土)	川口糀店さんと手前味噌づくり	14	1
6/22 (日)	手前梅干しを作ろう	10	1
		24	2

(3) 『食べもの通信』読者会

『食べもの通信』（家庭栄養研究会編集）は、安全な食べものと日本の食文化に根ざした健全な食生活と平和への願いから 1970 年に創刊した月刊誌である。さまざまな情報が溢れる中で、信頼度の高い新しい情報を学び合い、経験や考えを分かち合う場を作りたいと考え、2019 年 11 月から読者会を開始した。2020 年 8 月からコロナ禍に対応してリモートを併用し、本誌編集部や遠方からも参加者を集めている。茨城県つくば市に移住したメンバーやイタリア・フィレンツェに暮らすメンバーの参加も定着し、

各地ならではの情報交換も楽しい。重たい内容や難しい内容の記事でも、一人で読むよりも理解が進みやすくなった。家庭栄養研究会の会員になった担当が地方運営委員を受けて、定例のリモート拡大運営委員会に参加するなど、活動の幅を拡げている。

回	実施日	内 容	参加者
52	7/8 (月)	広がる PFAS 汚染－健康への影響～汚染の拡大	8
53	8/12 (月)	食料の自立と平和	5
54	9/9 (月)	知らないうちに慢性腎炎？	6
55	10/14 (月)	40・50 代でも始まる!?「フレイル」の予防の食事	7
56	11/11 (月)	なぜ増える。子どもの食物アレルギー－原因と疑問に答える	3
57	12/8 (月)	アルコール注意報発令中	5
58	1/13 (月)	素晴らしい発酵文化をもっと身近に!	4
59	2/10 (月)	みんな大好きブロッコリー	4
60	3/10 (月)	世界に広がるプラスチックごみ汚染 Stop!	5
61	4/14 (月)	海藻の力	6
62	5/12 (月)	めざせ快便	6
63	6/9 (月)	安全で安価、作っておくと便利な手作りドレッシング・たれ	5

64

(4) はまどまオープンデイ

地域の方々が気軽に「はまどま」に立ち寄れる機会となるように、「はまどまオープンデイ」を2回開催した。今後も年3回実施したい。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
12/20 (金)	クリスマスデコレーションを見に来ませんか？	3	1
3/30 (日)	桜開花にあわせて、さくら茶とお菓子をどうぞ	5	1

8

2

2) 街なかの土間企画応援 (2024 年度横浜市市民活動推進基金 (よこはま夢ファンド) 助成)

2024 年 5 月、外部者がはまどまを利用するための案内情報をとりまとめたウェブページ「街なかの土間企画応援」を開設し、企画の提案・実施を呼びかけた。NORA の共催事業に位置づけられるように内容を調整したうえで、第 25 期は 4 つの企画を実施した。また、はまどまで実施する企画を情報発信するために、紙媒体の「はまどま掲示板」を毎月発行したとともに、企画ごとのチラシを配布して、近隣の方への周知を図った。

(1) 茶畑の物語 (井上香織さん)

農産物として日本茶をとらえて、お茶について知り、魅力を感じて、暮らしに根ざす身近なものにしていただくことを目的とする講座。茶畑ひいては里山に思いを馳せていただけるよう、講義に加えてクイズや実技を内容に入れ、家で実践するためお茶のお土産を用意した。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
11/7 (木)	日本茶の概要とおいしく淹れる実技	7	2
12/5 (木)	日本茶の歴史と季節を知る	9	2

16

4

(2) 手打ちそばで年越しを！はまどまでそば打ち講座（鶴そば）

元はぶすば主宰の三浦まき子さんにコーディネーターとして、磯子区でそば打ち講座を開催しているグループ「鶴そば」のそば打ち名人を講師に招いて実施した。そばを打ち、食べることを通じて、手仕事のおもしろさ、季節の行事を楽しむこと、継承されてきた技と文化を再認識することをねらいとした。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
12/22（日）	そば打ちの実技、名人の打ったそばの試食、自分で打ったそばの持ち帰り	7	8
		7	8

(3) 季節を感じるヨガとお茶（石川みほさん＋矢野真美）

月1会の定期開催。1時間のヨガの後、30分のお茶タイムを設けている。お茶タイムでは、NORA 矢野が季節に合うお茶の効能や合わせる薬膳を紹介し、参加者はそれらを参考にお茶をブレンドする。お茶はお土産として持ち帰ってもらい、季節を感じる暮らしにつなげる。

5名という少数の定員であるが、集客に苦労している。今後、公式 LINE を開設するなどして改善を図りたい。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
2/13（木）	身体をあたためる呼吸法とやさしいヨガ、お茶とお菓子の提供	4	2
3/13（金）	からだをデトックスする	2	2
4/10（木）	自律神経をととのえる	5	3
5/8（木）	新たな季節の前にできること	2	2
6/12（木）	気持ち、リフレッシュ！	4	2
		17	11

(4) 大人のための絵本セラピー～絵本にちなんだお菓子を食べながら（嘉手苅君江さん）

絵本セラピーは、絵本セラピストが選んだ数冊の絵本を読み聞かせするプログラムである。セラピストが読み聞かせの間に簡単に問いかけ、参加者はそれについて答えて、参加者同士絵本から感じたことなどを話す。当企画では、絵本にちなんだお菓子を食べながら交流しようとしており、第1回は絵本の主人公の似顔絵を煎餅に描いた。来期は月1回の定期開催を予定している。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
6/27（金）	「地球の今」をテーマとする絵本セラピー	8	2
		8	2

3) 地域連携

- ・子ども食堂「みんなみ～な広場」（フォーラム南太田）に、NORA の新しい担当者が運営ボランティアとして関わるようになった。おもに調理・配膳を担当している。周囲から NORA のスタッフとして認識されるようになり、徐々に新たな繋がりが生まれてきている。
- ・10/20（日）、宮宿花1・2丁目町内会、宮宿花3・4丁目町内会の「町内会ハロウィンイベント」にスタンプラリーのポイントの一つとして参加。はまどまにてお菓子の配布とフォトスポットの設置を行なった。「はまどま」を町内の子どもたちや若い世代の親たちに親しんでもらう取り組みである。また準備と当日にボランティアの方々が関わり、関係を深めることができた。
- ・12/14（土）・12/15（日）、大岡川アートプロジェクト実行委員会主催の市民による地域のアートの

ベント「光のぷろむなぁど」にブース参加。ワークショップ「青葉さんの畑のサツマイモの蔓でリースを作ろう」など6つの企画を実施。このイベントも準備と当日にボランティアの方々が関わり、それぞれの特技を生かしてくださったので、ブースが活気づいた。

- ・3/7（金）蒔田小放課後キッズクラブにて、「光のぷろむなぁど」のワークショップで残った材料を使った工作教室を手伝った。子どもに関わる企画に、学校以外の機関との連携も図っていきたい。

4) ネットワーク

横浜コミュニティカフェネットワーク（YCCN）

7/17（水）の総会（kiri カフェ）に出席した後、オンライン会議に出席していたが、ネットワークのメンバーの関心がコミュニティカフェ独自の課題に集まってきているため、2025 年度をもって NORA は退会することとした。YCCN を通じて構築できたネットワークは、地域とのつながり方を考える上で有用であり、今後も活用していきたい。

5) はまどま広報（2024 年度神奈川県ボランティア活動推進基金 21 成長支援事業「パブリックリレーションズ・サポート・プログラム」

2024 年 8 月～2025 年 2 月の半年間、成長支援事業の実施団体である認定 NPO 法人森ノオトから、はまどまの広報に関する伴走支援を受けた。「はまどまの認知を広げ、里山とかかわる暮らしの共感者を増やす」という課題に対する取り組みを検討すべく、ベルソナインタビュー、はまどまプロジェクトへの参加者・企画者へのアンケートを実施するなどして、12 月には「はまどまオープンデイ」を開催。2 月までにははまどま企画実施フローを整理し、2025 年「街なかの土間企画応援」の事業計画と「2030 年に向けたロードマップ」のたたき台を策定した。今後は、はまどまのリーフレット作成、ウェブサイトの制作を進めていく予定である。

4. ハレ事業

1) 青葉台が里山だったころ～絵本『でんえんとしさとやまっ子』を読みながら

（青葉台地域ケアプラザ）

絵本『でんえんとしさとやまっ子』を読み、昔の写真も紹介。グループに分かれて、それぞれ参加者が回想しながら思い出を語っていた。たいへん好評だった。

日時：2024 年 7 月 10 日（水）13：30～15：00

会場：青葉台地域ケアプラザ

参加者：25 名（ほとんどが高齢者、なかには昔の青葉台を知る人も）

里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

5. イキモノ事業

1) トンボはドコまで飛ぶかフォーラム

京浜臨海部において生物多様性に配慮した緑地の質の向上を目的に、2003 年より企業・市民団体・行政・専門家が協働で活動を開始したフォーラムに、NORA は 2015 年 1 月から参加している。

第 25 期は、夏のトンボ調査等に参加したほか、本牧市民公園、根岸森林公園、富岡総合公園、長浜公園において 6 月～10 月にかけて指定管理者が主催する「トンボとり大作戦」の運営を担った。

「トンボとり大作戦」への参加者数とマーキングされたトンボの数は下表のとおりである。

調査場所毎の参加者数

調査場所	6月	7月	8月	9月	10月	合計
本牧市民公園	93	4	12	13	71	193
根岸森林公園	33	19	11	12	3※	78
富岡総合公園	19	9	16	25	35	104
長浜公園	5※	28	12	5	36	86
合 計	150	60	51	55	145	461

捕獲・マーキングされたトンボの数

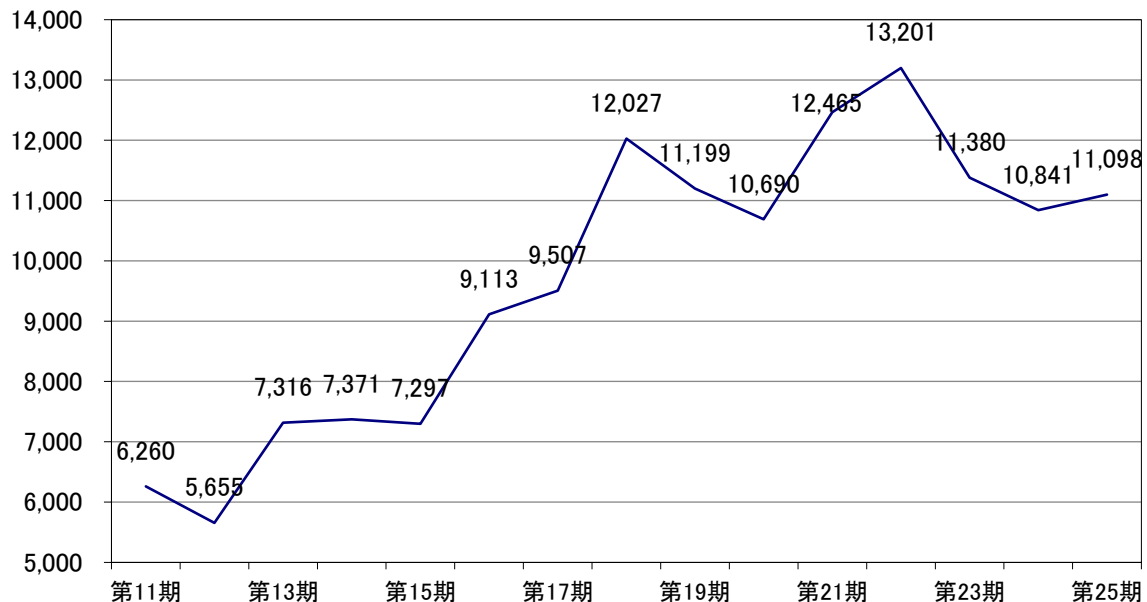
6月	7月	8月	9月	10月	合計
9	28	52	14	83	186
9	36	105	47	27	224
9	3	127	50	118	307
37	30	55	24	15	161
64	97	339	135	243	878

6月は第24期、※は大作戦当日雨天のため代替日にスタッフのみで調査実施

6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

第25期もNORAの公式サイトから、イベントの告知・報告記事など情報発信をおこなった。月平均ページビューは11,098（21期12,465→22期13,201→23期11,380→24期10,841）であった。イベント参加者による評価や感想がわかるように、報告記事の投稿頻度をもう少し上げたい。



2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

原則、毎月1日に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信した（第194～205号）。

第25期末（2025年6月）は、NORAからブラストメールを利用して配信している数が2,466、メルマガ発行サービス「まぐまぐ！」からは187、合計で2,653アドレス（昨期末2,556）に配信した。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

第25期末（2025年6月）のSNSのフォロワーは、Facebook1948（21期1,651→22期1,761→23期1,895→24期1943）、X（旧Twitter）575（21期545→22期577→23期580→24期580）と、昨期とほぼ変わらなかった。一方、Instagramは968（21期521→22期693→23期776→24期872）、YouTubeチャンネルは802（22期239→23期403→24期609）と順調に増えた。

2025年1月から、Meta Business Suiteの機能を利用して、FacebookとInstagramの分析を始めたほか、イベントの広報効果を考慮してInstagramのハイライトを毎月協議して決めることにした。

今後は、若い世代への情報発信を強化するために、ショート動画、リールなどの活用を進めたい。

4) 年間報告書の作成

「2024 年活動報告」(A4、三つ折り)を作成し、会員・会友へ配布した。大分まで研修に行った「もったいないから竹細工」、2024 年にスタートした「街なかの土間企画応援」、19 年の歴史に幕を閉じた「野菜市でつなぐ農と人」など、1 年間の活動を紙面で報告し、年越し前に年会費の支払いを促した。

5) プロジェクト紹介動画

団体設立 20 周年記念事業として制作を始めたプロジェクト紹介動画では、プロジェクトの魅力、現場の雰囲気、担当者の想いと参加者の声をまとめている。第 25 期は「間伐材を活かすグリーンウッドワーク」を予定していたが公開できなかったため、来期には公開したい。

協働・受託事業

里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

1) 森づくりボランティア体験事業（横浜市みどり環境局環境活動事業課）

<実施期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月、2025 年 4 月～2026 年 3 月>

森を育む人材育成事業に登録された森づくりボランティアの活動推進と既存の活動団体の活性化を目的に、森づくり活動団体の活動へ森づくりボランティアが参加する「森づくり体験会」の企画、運営、参加者指導等の業務を実施した。

【初級編】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	10/6（日）	綱島市民の森	綱島市民の森愛護会	4
2	12/7（土）	寺家ふるさとの森	なし	16
3	2/8（土）	中田ふれあいの樹林	中田ふれあいの樹林愛護会	9

【実践編】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	10/27（日）	新治市民の森	なし	7
2	11/23（土）	新治市民の森	なし	7

【継続編】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	11/9（土）	名瀬・上矢部市民の森	なし	14
2	1/25（土）	名瀬・上矢部市民の森	なし	12
3	2/22（土）	名瀬・上矢部市民の森	なし	12

【森づくりボランティア派遣（助っターズ）】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	8/3（土）	鴨居原市民の森	鴨居原市民の森愛護会	4
2	10/26（土）	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	6
3	11/17（日）	上矢部ふれあいの樹林	上矢部ふれあいの樹林の森愛護会	8

4	6/21（土）	新治の谷戸田	新治里山「わ」を広げる会／谷戸田を守る会	8
---	---------	--------	----------------------	---

2) 保育所・小中学校等ビオトープ整備支援業務（横浜市みどり環境局環境活動事業課）

<実施期間：2024 年 4 月～2025 年 2 月、2025 年 4 月～2026 年 2 月>

2024 年度は、当該事業でビオトープ整備を実施した小学校 13 校に対してフォローアップをおこなった。また、13 校に対してビオトープの整備・管理に関する支援を延べ 19 回実施した。

2025 年度も引き続き、市内小学校等に対してビオトープ整備に関する助言を実施している。

3) 道具の使い方研修・森づくり安全管理研修・入門講座企画実施業務

（横浜市みどり環境局環境活動支援センター）

<実施期間：2024 年 4 月～2025 年 2 月>

市民と行政の協働による森づくりを推進するため、森づくり活動に用いる道具の使い方と手入れ、活動を安全におこなう基本姿勢について学ぶ作業研修、森づくり活動団体の必須研修である安全管理研修、講義・森歩き・実技からなる森づくりボランティア入門講座の企画運営を実施した。

研修・講座	開催日
道具の使い方研修	7/6（土）
安全管理研修	8/21（水）、8/31（土）、9/15（日）
森づくり塾（大学生対象）	11/16（土）、11/23（土）
入門講座（一般対象）	10/19（土）、10/27（日）
作業研修	12/14（土）

4) トンボ池等管理業務（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月、2024 年 4 月～2026 年 3 月>

2024 年度は、長浜公園（横浜市金沢区）のトンボ池や水田等ビオトープにおいて、市民を対象とした環境啓発、生物の生息空間の保全のための管理をおこなった。あわせて、長浜公園と富岡総合公園でトンボ取り大作戦の運営をおこなった。2025 年度も継続して保安全管理やトンボとり大作戦運営等を実施している。

5) 根岸森林公園トンボ等調査（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2024 年 6 月～2024 年 10 月、2025 年 6 月～2025 年 10 月>

子どもたちにトンボとりを体験してもらい、くらしと街中での生きものとのつながりを認識してもらうため、根岸森林公園で 6 月から 10 月まで毎月 1 回トンボとり大作戦の運営を実施した。2025 年度も引き続き実施している。

6) 野島公園ビオトープ水路環境調査（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月、2025 年 4 月～2026 年 3 月>

2024 年度は、観音崎自然博物館が実施する水生生物・植生調査と連携したビオトープ池や樹林地の環境管理をおこなった。2025 年度も引き続き実施している。

7) トンボとり大作戦開催業務（横浜植木株式会社）

<実施期間：2024 年 6 月～2024 年 10 月、2025 年 6 月～2025 年 10 月>

子どもたちにトンボとりを体験してもらい、くらしと街中での生きものとのつながりを認識してもらうため、本牧市民公園 6 月から 10 月まで毎月 1 回トンボとり大作戦の運営を実施した。2025 年度も引き続き実施している。

8) 里地里山入門講座第 3 回運営委託 (NPO 法人にいはる里山「わ」を広げる会)

<実施期間：2024 年 6 月～2024 年 12 月>

寺家ふるさと村の農景観を市民参加によって保全していくため、里地里山入門講座が開催された。この第 3 回講座 (里山管理) の企画・運営をおこなった。

日時：2024 年 10 月 30 日 (土)

内容：寺家ふるさと村の森を感じる (下草刈り・除伐体験)

9) 企業研修の企画・運営

江崎グリコ株式会社 (NPO 法人日本 NPO センター)

11/15 (金) 日本 NPO センターから打診された江崎グリコ株式会社 CSR 活動のコーディネートをおこなった。NPO 法人新治里山「わ」を広げる会の協力を得て、新治里山公園において企業ボランティア 14 名で水路の泥上げ作業を実施した。

委員・講師派遣等

1) 委員

○松村正治

- ・横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長 (～2025 年 3 月)
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会専門委員
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会委員
- ・国土緑化推進機構「国民参加による植樹等の推進対策」サポート体制構築事業検討委員

○吉武美保子

- ・神奈川県里地里山保全協議会構成員
- ・横浜市市民協働推進センター事業部会 ※新治里山「わ」を広げる会の肩書で

2) 講師・執筆

○島村雅英

- ・横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」を 12 回、のべ 837 人の児童に対して開催した。

回	実施日	学校名	区	対象	人数
1	7/4 (木)	北方小学校	中区	5 年	28
2	7/10 (水)	能見台小学校	金沢区	6 年	33
3	7/11 (木)	八景小学校	金沢区	4 年	77
4	9/3 (火)	中尾小学校	旭区	6 年	41
5	9/4 (水)	大岡小学校	南区	6 年	33
6	9/5 (木)	下野庭小学校	港南区	エコロジー委員会	20
7	10/1 (火)	東戸塚小学校	戸塚区	3 年	37
8	10/24 (木)	緑園学園	泉区	5 年	31

9	10/25（金）	南希望が丘中学校	旭区	全校	452
10	10/31（木）	南台小学校	港南区	5 年	26
11	11/18（月）	上菅田笹の丘小学校	保土ヶ谷区	5 年	29
12	6/13（金）	坂本小学校	保土ヶ谷区	5 年	30

837

○松村正治

- ・ 7/6（土）環境 3 学会合同シンポジウム「Nature Positive: 実現に向けた方策の検討」報告
- ・ 10/27（日）まちだ市民大学 HATS「身近な自然派なぜ大事なのか？」講演
- ・ 1/29（水）国土緑化推進機構＋森づくりフォーラム「これからの協働による森林づくりを考える」パネリスト
- ・ 1/31（金）横浜国大・アーバンデザインラボ「「里山フリーランサー」という生き方」話題提供
- ・ 2/8（土）泉区区政推進課「つながる！地域活動ゼミ」話題提供
- ・ 3/15（土）つまフラワーボランティア「SDGs 時代にもどりの見方をアップデート」話題提供
- ・ 3/24（月）3/28（金）横浜市市民局 NPO 組織基盤強化講座「団体の課題を認識し、解決するために考えること」講演
- ・ 5/18（日）森林と市民を結ぶ全国の集いディスカッション「新しい里山的生き方＝生物多様性保全？」コーディネート
- ・ 5/31（土）総合人間学会第 19 回研究大会シンポジウム「人と自然の未来」報告

○吉武美保子

- ・ 6/1（日）総合人間学会第 19 回研究大会里山フォーラム「人と自然の未来」報告

プロジェクト	第11期 2010.7-2011.6	第12期 2011.7-2012.6	第13期 2012.7-2013.6	第14期 2013.7-2014.6	第15期 2014.7-2015.6	第16期 2015.7-2016.6	第17期 2016.7-2017.6	第18期 2017.7-2018.6	第19期 2018.7-2019.6	第20期 2019.7-2020.6	第21期 2020.7-2021.6	第22期 2021.7-2022.6	第23期 2022.7-2023.6	第24期 2023.7-2024.6	第25期 2024.7-2025.6	備考
NORAの山仕事	245	209	231	223	290	296	315	288	391	347	433	468	352	405	552	2015.7-やま守り編も
竹を活かす山仕事	5	21	26	36	67	84	94	99	124	65	80	86	88	76	67	2011.4-
よこはま里山レンジャーズ			182	153	96	169	81	48	63	75	66	79	68	35	34	
里山保全を安全で楽しく							40	40	49	125	163	181	158	147	95	2019.9-モリダス共催
グリーンウッドワーク											51	19	83	45	65	2021.5-
里山でシゴトづくり						129	98	177	165	41	28	0	0	0	0	
休耕地再生で農体験	67	241	237	94												2011.4-2014.3
ヨコハマで農業体験	14	18	42	7												2011.4-2014.3
NORAの野良仕事	11	5	1	4												-2013.12
森と畑と音楽と				101	320	494	367	281	258	326	246	244	445	475	543	2013.11-
神奈川野菜の食事会	273	197	195	164	103	95	38	73	62	53	18	0	0	0	0	
もったいないから竹細工①	100	75	48	82	135	137	135	166	177	141	95	87	83	47	89	竹かご教室、WS
もったいないから竹細工②		27	21	42	135	160	264	253	471	462	502	707	733	690	546	竹細工工房、自主練
筆とお香	37	6	19	7	41											旧野を描く→筆で描こう
お話の会	24	110	42	20												旧朗読のタベ
『食べものの通信』読者会										32	70	63	73	56	64	2019.12-
はまどまシアター（映画）		8		27		110	71	51	60	25	0	0	0	0	0	2013.6-
はまどまで士間仕事				27	27	135	66	64	26	32	19	13	17	12	26	2014.2-
はぶすばラボ											75	58	41	59		2021.12-
はまどま諸々（会員）					24	130	118	61	47	61	12	6	3	0	73	旧NORAの部活、手習い塾
はまどま諸々（非会員）								75	131	21	0	0	0	0	0	
NORAサロン・ライブ				51	69	38	0	70	48	56	55	0	0	0	0	2013.12復活
はまどまオープン										162					10	2019.8-
はまどまPJ計	434	415	333	420	534	805	692	813	1,022	1,045	846	934	950	864	808	
句の里山探訪	60	29	106	148	198	167	176	184	191	127	105					外部スタッフ除く
トンボとり大作戦							146	127	154	167	225	407	525	380	461	前期6月分を含む
Green Gift							79	101	84	51	0	41				外部スタッフ除く
竹細工出張ワークショップ								68	68							
特別なハレ		125		54			23	15			27				25	
合計	836	1,063	1,158	1,240	1,505	2,144	2,111	2,241	2,569	2,369	2,270	2,459	2,669	2,427	2,650	絵本
		10周年		TPP			里山ガ-デン	里山ガ-デン			二十歳祝い					
サイト訪問者数	1,686	1,732	2,271	2,650	2,762	2,770	3,342	4,707	3,511	3,727	4,259	4,751	4,523	3,883	4,380	
サイト閲覧回数	6,260	5,655	7,316	7,371	7,297	9,113	9,507	12,027	11,199	10,690	12,465	13,201	11,380	10,841	11,098	
X (Twitter)		240	337	396	427	475	495	507	514	520	545	577	580	580	575	
広報 Facebook		63	212	326	475	707	878	1,116	1,320	1,525	1,651	1,761	1,895	1,943	1,951	
Instagram											521	693	776	872	968	
YouTube												239	403	609	802	

活 動 計 算 書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

[税込] (単位: 円)

自 2024年 7月 1日 至 2025年 6月30日

【経常収益】		
【受取会費】		
入 会 金	0	
一般会員受取会費	456,000	
運営会員受取会費	120,000	
賛助会員受取会費	10,000	586,000
【受取寄付金】		
受取寄付金	69,800	69,800
【受取助成金等】		
受 取 助 成 金	889,901	889,901
【事業収益】		
自主事業収入	1,992,750	
受託事業収入	8,601,332	
販売事業収入	0	
その他事業収益	0	10,594,082
【その他収益】		
受取 利息	6,519	
雑収入	0	6,519
経常収益 計		12,146,302
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当		
人件費計	0	
(その他経費)		
売上原価	501,090	
調査費	480,000	
業務委託費	5,771,797	
諸謝金	2,929,966	
印刷製本費	43,088	
支払手数料	45,241	
賃借料	27,950	
保険料	212,686	
消耗品費	807,839	
水道光熱費	92,688	
修繕費	51,400	
会議費	78,195	
地代家賃	942,304	
旅費交通費	568,144	
通信運搬費	183,464	
減価償却費	9,906	
租税公課	484,650	
その他経費計	13,230,408	
事業費 計		13,230,408
【管理費】		
(人件費)		

給料手当	0		
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費	220,000		
印刷製本費	3,565		
支払手数料	6,941		
保険料	0		
消耗品費	55,643		
水道光熱費	4,760		
地代家賃	48,396		
旅費交通費	97		
通信運搬費	49,214		
諸会費	25,400		
寄附金	500		
調査費	4,400		
会議費	956		
雑費	220		
租税公課	1,470		
その他経費計	421,562		
管理費 計		421,562	
経常費用 計			13,651,970
当期経常増減額			△ 1,505,668
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
【特別利益】			
特別利益 計	0		0
【特別損失】			
前期損益修正	211,000		
特別利益 計	211,000		211,000
税引前当期正味財産増減額			△ 1,716,668
法人税、住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			△ 1,791,168
前期繰越正味財産額			15,538,782
次期繰越正味財産額			13,747,614

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)
2025年 6月30日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,063,641
小口 現金		未払法人税等	74,500
普通 預金	13,386,217	未払消費税	480,800
郵便 貯金	1,624,985	前 受 金	6,000
現金・預金 計	15,011,202	預 り 金	230,286
(売上債権)		流動負債合計	1,855,227
未 収 金	12,000	【固定負債】	
売上債権 計	12,000	固定負債合計	0
(棚卸資産)			
商品	0		
棚卸資産 計	0	負債合計	1,855,227
(その他流動資産)		正味財産の部	
前払費用	220,170		
仮 払 金	2,100	前期繰越正味財産	15,538,782
預け金	17,058		
その他の流動資産 計	239,328		
流動資産合計	15,262,530	当期正味財産増減額	△ 1,791,168
【固定資産】			
(有形固定資産)			
機械装置	24,731		
有形固定資産 計	24,731		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産 計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷金	225,700		
投資その他の資産 計			
固定資産合計	340,311	正味財産合計	13,747,614
資産合計	15,602,841	負債及び正味財産合計	15,602,841

財 産 目 録

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)

2025年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口現金	0
普通 預金	13,386,217
横浜銀行 本部1	(9,580,434)
横浜銀行 ヤマ	(267,626)
横浜銀行 受託1	(953,930)
横浜銀行 受託2	(91,386)
横浜銀行 竹	(862,161)
横浜銀行 本部2	(692,117)
GMOあおぞらネット銀行	(938,563)
郵便 貯金	1,624,985
ゆうちょ銀行 本部	(1,081,600)
ゆうちょ銀行 はまどま	(503,656)
ゆうちょ銀行 ヤマ	(39,729)
現金・預金 計	15,011,202

(売上債権)

未 収 金	(12,000)
横浜市	12,000
売上債権合計	12,000

(棚卸資産)

棚卸資産 計	0
--------	---

(その他流動資産)

預け金	17,058
P a y p a l	(17,058)
前払費用	220,170
家賃	(82,500)
2025年度対応保険料	(107,970)
2025年度ウェブサイト保守	(29,700)
仮 払 金	2,100
はまどま	(2,100)
その他の流動資産 計	239,328

流動資産合計

15,262,530

【固定資産】

(有形固定資産)

機械装置	24,731
林業用機器	(24,730)
クローラー式運搬車	(1)
有形固定資産 計	24,731

(無形固定資産)

電話加入権	89,880
日本電信電話(株)	(89,880)
無形固定資産 計	89,880

(投資その他の資産)

敷金	225,700
大和ビルディング(株)	(225,700)

投資その他の資産 計			
固定資産 計		340,311	
資産合計			15,602,841
	《負債の部》		
【流動負債】			
未払金	1,063,641		
はまどまコーディネーター費用R7.4-6	(180,000)		
竹細工 立替精算	(145,041)		
竹細工委託管理費	(720,000)		
2024年度保険	(18,600)		
前受金	6,000		
2025年度会費	(6,000)		
未払法人税等	74,500		
法人県民税	(20,000)		
法人事業税	(54,500)		
未払消費税	480,800		
消費税	(480,800)		
預り金	230,286		
源泉税	(230,286)		
流動負債合計		1,855,227	
負債合計			1,855,227
正味財産合計			13,747,614

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

2025年 6月30日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1).固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

無形固定資産：定額法

(2).消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は別紙の通りです。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
緑の募金	0	609,549	609,549	0	
よこはま夢ファンド	570,000		570,000	0	はまどま
よこはま夢ファンド	0	180,352	180,352	0	山仕事
シボダンジャパン	368,839		368,839	0	
合計	938,839	789,901	1,728,740	0	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
林業用機器	940,245	0	0	940,245	940,244	1
クローラー式運搬車	329,400	0	0	329,400	304,670	24,730
合計	1,269,645	0	0	1,269,645	1,244,914	24,731

【各部門の会費収入】

(単位：円)

部門	金額
ムラ（竹細工）	258,000
ヤマ	93,000
事務局	235,000

事業費の内訳

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

2024年 6月30日 現在

科目	全事業所	ヤマ（収益）	ヤマ（非収益）	ムラ（収益）	ムラ（非収益）	受託（収益）	受託（非収益）	広報	事務局（管理）
（受取会費）									
入 会 金	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般会員受取会費	456,000	0	0	0	0	0	0	0	456,000
運営会員受取会費	120,000	0	0	0	0	0	0	0	120,000
賛助会員受取会費	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
受取会費計	586,000	0	0	0	0	0	0	0	586,000
（受取寄付金）									
受取寄付金	69,800	0	55,400	10,000	400	0	0	0	4,000
受取寄付金計	69,800	0	55,400	10,000	400	0	0	0	4,000
（受取助成金等）									
受取助成金	889,901	424,771	465,130	0	0	0	0	0	0
受取助成金等計	889,901	424,771	465,130	0	0	0	0	0	0
（事業収益）									
自主事業収入	1,802,850	0	35,000	1,753,250	14,600			0	
受託事業収入	8,791,232	189,900	0	0	0	8,493,332	108,000	0	0
販売事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益計	10,594,082	189,900	35,000	1,753,250	14,600	8,493,332	108,000	0	0
（その他収益）									
受取利息	6,519	77	69	241	2	2,750	35	0	3,345
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他収益計	6,519	77	69	241	2	2,750	35	0	3,345
経常収益計	12,146,302	614,748	555,599	1,763,491	15,002	8,496,082	108,035	0	593,345
（人件費）									
給 料 手 当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（その他経費）									
売上原価	501,090	0	0	501,090	0	0	0	0	0
調査費	484,400	0	0	0	0	480,000	0	0	4,400
業務委託費	5,991,797	0	120,000	1,440,000	0	4,169,197	0	42,600	220,000
諸謝金	2,929,966	719,000	0	0	0	2,110,966	100,000	0	0
印刷製本費	46,653	0	0	4,463	0	31,900	0	6,725	3,565
支払手数料	52,182	4,789	4,617	5,892	34	28,123	796	990	6,941
賃借料	27,950	0	0	0	0	26,950	0	1,000	0
保険料	212,686	0	81,956	130,730	0	0	0	0	0
消耗品費	863,482	180,766	453,943	4,103	0	169,027	0	0	55,643
水道光熱費	97,448	4,933	4,457	14,148	120	68,163	867	0	4,760
修繕費	51,400	0	51,400	0	0	0	0	0	0
会議費	79,151	0	1,650	76,545	0	0	0	0	956
地代家賃	990,700	50,141	45,316	143,837	1,224	692,974	8,812	0	48,396
旅費交通費	568,241	74,911	3,217	488,611	2	1,385	18	0	97
通信運搬費	232,678	5,290	5,088	15,175	129	78,840	930	78,012	49,214
諸会費	25,400	0	0	0	0	0	0	0	25,400
寄附金		0	0	0	0	0	0	0	500
会議費		0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費		0	9,906	0	0	0	0	0	0
雑 費		0	0	0	0	0	0	0	220
租税公課		8,618	1,588	79,570	663	389,310	4,901	0	1,470
前期損益修正	211,000	0	0	211,000	0			0	
その他経費計	13,862,970	1,048,448	783,138	3,115,164	2,172	8,246,835	116,324	129,327	421,562
経常経費計	13,862,970	1,048,448	783,138	3,115,164	2,172	8,246,835	116,324	129,327	421,562
当期正味財産増減	-1,716,668	-433,700	-227,539	-1,351,673	12,830	249,247	-8,289	-129,327	171,783

(千円)	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	16期	17期	18期	19期	20期	21期	22期	23期	24期	25期
当期収入合計	4,622	12,870	26,665	23,441	25,389	15,341	7,073	8,353	14,125	6,016	8,144	9,029	5,740	3,060	5,476	7,619	12,794	10,740	12,294	13,283	11,597	12,693	13,418	14,614	12,146
当期支出合計	4,069	11,959	22,184	24,567	21,946	18,672	10,380	6,946	11,174	6,633	7,953	7,644	5,261	3,601	4,984	6,702	10,669	9,256	11,912	11,987	10,273	12,431	13,364	14,288	13,937
当期収支差額	552	911	4,481	-1,126	3,443	-3,331	-3,307	1,408	2,950	-617	191	1,385	480	-542	492	916	2,125	1,483	382	1,296	1,324	262	54	326	-1,791
前期繰越収支差額	0	552	1,464	5,945	4,819	8,262	4,932	1,624	3,032	5,983	5,366	5,557	6,942	7,422	6,880	7,372	8,288	10,413	11,896	12,278	13,574	14,897	15,159	15,213	15,539
次期繰越収支差額	552	1,464	5,945	4,819	8,262	4,932	1,624	3,032	5,983	5,366	5,557	6,942	7,422	6,880	7,372	8,288	10,413	11,896	12,278	13,574	14,897	15,159	15,213	15,539	13,748

(人)

自主事業参加者数										836	1,063	1,158	1,240	1,505	2,144	2,111	2,241	2,569	2,369	2,270	2,459	2,669	2,427	2,650
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

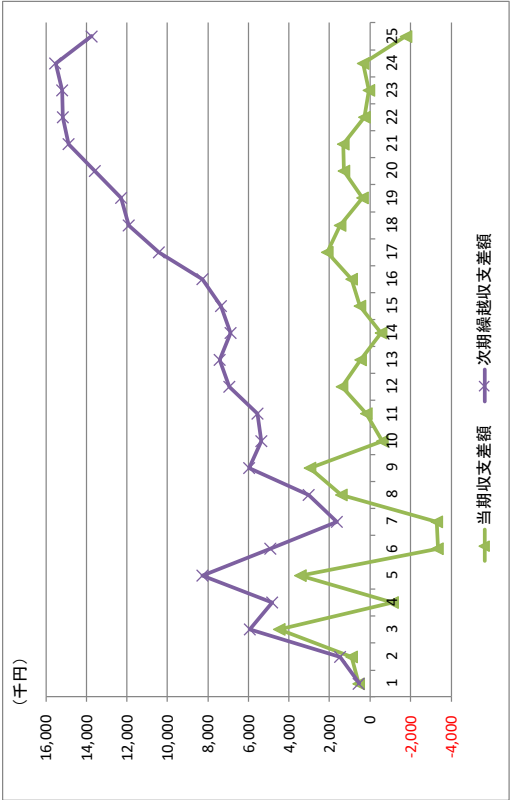


図 当期収支差額および次期繰越収支差額の推移

※1～9期の事業期間は1月～12月、11期以降の事業期間は7月～翌年6月
10期の事業期間は2010年1月～6月の6か月間

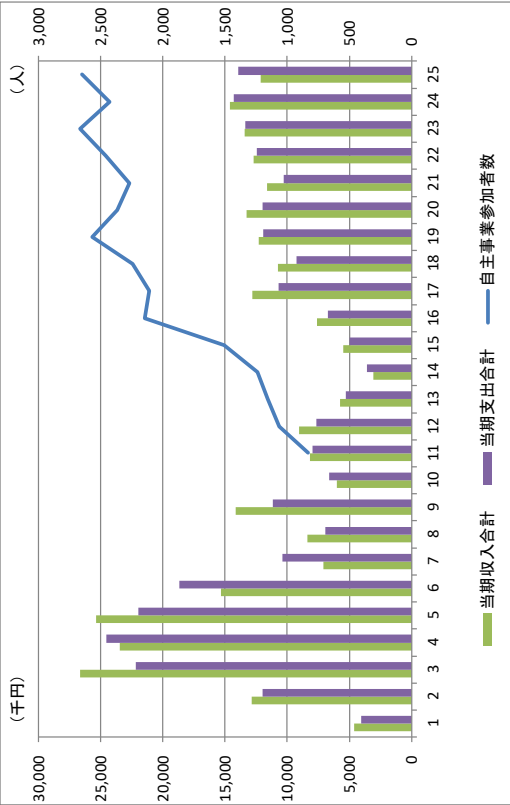


図 当期収入合計および当期支出合計の推移

第3号議案 第26期事業計画（2025年7月～2026年6月）

2000年に設立したNORAは、今年25周年を迎えた。2001年にNPO法人化して以降の初期は、2年ごとに理事長が交代していたが、2005年～25年まで20年間は3代目の理事長が交代することなく継続してきた。毎年、NORAの運営メンバーは固定化・高齢化してきており、内部の人材養成や他団体との協働・連携を進めていく必要があると、事業計画に記しながらも、大きな変化を生み出せずにいた。

ところが、第26期には、新理事長の就任、事務局長職の設置と事務局体制の整備を予定できている。さまざまな活動を通して蓄積してきた知識や経験、ネットワークなどを、後継の世代に引き継ぐことは、里山をモデルに組織運営を図るNORAとしては重要な課題である。新しい運営体制に変われば、おのずと新しい風が吹き、活動の色合いも変化を見せていくに違いない。

若年層の自然体験が減少するとともに、体験の格差が広がるなかで、NORAはさまざまなきっかけを作りながら、「里山とかかわる暮らし」を提案していく責務がある。活動の継続性に固執することなく、新しく関わる人びとによる新しい発想を積極的に活かしながら、次世代が活躍する余白をつくりたい。

特に、活動をすすめるプロセスにおいて対話を重視したい。それは他者との対話だけではなく、自然との対話、歴史との対話、自分との対話も含む。一方的に話すのではなく、対等に話し合う場を作ること、聞くために耳をすませることを意識したい。

NORAが活動の幅を彩り豊かに広げていくには、事業を担当するリーダー層の役割が大きい。新理事長のもとで、NORAのリーダーに求める資質を整理するとともに、昨期赤字となった反省を生かして、予算管理の仕組みを見直すことにする。その先に、あらためてミッション・ビジョン・バリューの確認や、2030年にありたい姿を想像しながら、NORAらしい中長期計画を描きたい。

以上を踏まえ、第26期は下記3つの重点方針を掲げて、定例の自主活動（ヤマ・ノラ・ムラ・ハレ・イキモノ）を進め、「根を持つことと翼をもつこと」を両立させていく。

1. コーディネーターを中心とした「はまどま」活用のさらなる推進【ムラ】

「はまどま」が「街なかの里山の入り口」としてよりよく活用されるように、コーディネーターが中心になって新しい参加者・担い手を増やしていく。すでに今期も新しい企画が始まる予定が立っているが、NORAの共催事業に位置づけられるように、1つひとつの企画を丁寧に練り上げていく。

一方、広報面において大きな課題があるので、「はまどま」に興味を持ちそうな人や近隣住民に向けて、ターゲットに応じた方法で周知を図っていく。昨期中に「パブリックリレーションズ・サポート・プログラム」の支援を受けて学んだことを活かし、今期中に「はまどま」のリーフレットを作成するほか、ホームページについても構成やコンテンツの検討を進

める。また、SNS に慣れた方と連携して、LINE 公式アカウントによる情報発信を始めるなど、広報面の強化を進める。

将来的には、活動拠点として「はまどま」が成熟していく中から、新たな担い手を中心となって自主的に運営されていくかたちを目ざす。

2. 都市近郊の市民参加による持続可能な里山づくり【ヤマ】

今日の里山保全活動が抱える課題として、ボランティアの高齢化によって継続することが難しくなっている団体が多いことが挙げられる。また、ナラ枯れ被害に見舞われて以降は、何を目的に森林づくり・里山づくりをおこなうのかが問われるようになっており、施業後に自然がどのように反応するのかを十分に観察したうえで、将来ビジョンの合意形成を図っていくことが求められている。

こうした現状と課題を踏まえて、NORA ではセミプロや複業として里山づくりに関われるくらいのスキルを持った人材育成に務める。都市近郊の里山では、木材資源を直接利用するのではなく、企業研修の受け入れなど利用体験をサービスに変えたり、里山を空間として利用したりして付加価値を高めることが必要になっている。川井緑地では保全管理計画に基づいた活動を進めるとともに、グリーンウッドワークの普及にも努めながら、里山生態系の保全、発生材の有効利用、山仕事の担い手育成の点において、都市近郊の市民参加による持続可能な里山づくりを推進する。

3. 都市に農村が必要であることを経験できる場づくり【ノラ】

これまで「森と畑と音楽と」は、ほかの事業からやや独立したかたちで展開してきたが、この活動は NORA にとって重要であることを確認したい。「令和の米騒動」によって、あらためて都市住民の生活基盤が脆弱であることに気づいたように、街なかや都市近郊の自然を守るだけでは十分ではない。都市住民は、地方に豊かに残る自然から大きな恵みを受けているが、そのことに気づかずに暮らしていることが多い。「森と畑と音楽と」では、農村景観が広がる厚木市七沢での実践を通して、さまざまな人と自然の深い関係について、気づきや学びの機会があるだろう。

NORA が設立した 2000 年当時、故・中川重年さんのホームであった七沢は、市民参加による里山保全の聖地の一つであった。全国に広がった里山保全運動の原点とも言える場所で活動する意義を確かめ、小さい・弱い人によりそう温かい気持ちを持っていた重年さんを偲びながら、都心から日帰りでも本格的な里山経験ができる場づくりを進めていく。

自主事業

1. ヤマ事業

1) NORA の山仕事 {別紙計画書のとおり}

2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}

従来の活動に加え、2025 年 10 月から、鶴見川クリーンセンター（町田市三輪緑山）において竹林管理と発生材の有効活用を始める予定である。

3) よこはま里山レンジャーズ（連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会（NAREC））
{別紙計画書のとおり}

4) 間伐材を活かすグリーンウッドワーク {別紙計画書のとおり}

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

(1) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}

(2) はまどまで土間仕事 {別紙計画書のとおり}

(3) 『食べものの通信』読者会

(4) はまどまオープンデイ {別紙計画書「街なかの土間企画応援・地域連携」に記載}

2) 街なかの土間企画応援 {別紙計画書「街なかの土間企画応援・地域連携」に記載}

(1) 季節を感じるヨガとお茶（石川みほさん＋勝野真美）

(2) 大人のための絵本セラピー～絵本にちなんだお菓子を食べながら（嘉手苅君江さん）

(3) みんな、ともだち！ [仮]（一般社団法人遊心）

(4) 土鍋でほかほかごはん！（佐々木美保さん）

3) 地域連携・ネットワーク

南区役所、宮宿花 1・2 丁目町内会、蒔田公園愛護会、フォーラム南太田、睦地域ケアプラザなど、蒔田地区周辺の公共機関・団体との連携を深める。

4. ハレ事業

未定

5. イキモノ事業

1) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として森里川海と連携し、生物多様性保全に繋がる活動を実施する。

6. 広報事業

1) ウェブサイト更新・メールマガジン配信・SNS による情報発信

ウェブサイトと連携しながら、定期的に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信して、効果的に情報を発信する。また、SNS を利用して柔軟かつ迅速な情報発信に努め、特にストーリーやショート動画など、動きのある素材を有効に活用していく。

2) 活動報告書の作成

2024 年の活動報告書を作成し、年末に年会費支払いの依頼とともに会員に送付する。

3) プロジェクト紹介動画

「間伐材を活かすグリーンウッドワーク」の動画を公開する。

協働・受託事業

適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。また、ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

- ・森づくりボランティア体験事業業務（横浜市みどり環境局）
- ・保育所・小中学校等ビオトープ整備等支援業務（横浜市みどり環境局）
- ・森づくり研修 企画実施業務（横浜市環境活動支援センター）
- ・トンボ池管理等業務（横浜市緑の協会）
- ・根岸森林公園トンボ等調査（横浜市緑の協会）
- ・野島公園ビオトープ環境改善業務（横浜市緑の協会）
- ・トンボとり大作戦開催業務（横浜植木）

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

プロジェクト名	NORAの山仕事	
カテゴリー	ヤマ	
リーダー	下山康博	
スタッフ (リーダーを除く)	中林博志・島村雅英／アドバイザー：吉武美保子	
目的 (簡易書きで記入)	・「利用する森」をコンセプトとし、様々な里山保全活動により豊かな森をつくる。 ・森の恵みを様々なかたちで利用して、森と関わる暮らしを横浜で実践する。	
目標	・活動の安全性向上 ・後継者・サプリーダーの育成 ・保全管理技術の向上（伐倒技術等） ・保全管理計画の概成と次世代へつなぐ森づくりへの環境整備 ・財政基盤の充実	
内容	・針葉樹の間伐、常緑樹・枯損木の除伐、下草刈り、落葉樹苗の育苗・定植など、豊かな森づくりを目標に活動を進める。 ・伐採材は簡易製材して森の整備に活用するほか、薪などにも加工する。	
日時	・定例活動：毎月第2・第4日曜日開催、やま守り編：不定期実施。 ・原則 10:00～16:00	
場所	旭区下川井町 川井特別緑地保全地区	
年間スケジュール (単発イベントの場 合は実施日)	・通年 森内の歩道整備、放置材の回収、薪加工等 ・7～10月 林内整備（枯損木伐採、下草刈り）、外周整理、デッキ再整備、製材 ・11～2月 針葉樹の間伐等、技術講習会 ・3～6月 林内整備、製材等	
一般募集の有無	あり、定員なし、お試し参加あり（NORAのメルマガ・HPなどで一般募集）	
参加費の有無	お試し参加は無料、定例参加は一般会員への加入	
収入見込額(a)	会費・寄付金収入 県森林協会助成金 緑の募金支援金 本部繰入金 <計>	@3,000円×30人+10,000円 30,000円 460,000円 100,000円 690,000円
支出見込額(b)	謝金 交通費 グリーンボランティア保険 事務委託費 消耗品費 <計>	@30,000円×10回講師派遣謝金 @3,000円×10回(講師交通費) @400×160人、@1,500×24回 事務委託費@15,000×12か月 燃料代、工具修理代等 690,000円
収支見込額(a-b)	0円	
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	企業等から現地体験研修の申し込みがあれば、対応の検討を行う。	
作成年月日	2025年8月1日	作成者名 中林博志

プロジェクト名	竹を活かす山仕事	
カテゴリー	ヤマ	
リーダー	下山康博	
スタッフ (リーダーを除く)	三宅健也	
目的 (簡易書きで記入)	・畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう ・竹林整備を行なうことで、恵みある里山の生態系を維持する ・整備活動によって排出された竹材を有効活用する	
目標	・事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る ・民有地の竹林整備を継続する ・良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備を行う ・横浜市内で生産性を望める竹林を探す	
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業をおこなう。 切り出した竹は、竹かごを編む為の竹ひご作りに用いたり、カトラリーを製作する材料として活用する。	
日時	毎月第3日曜日 10:00～15:00 ※7月～9月の間は、酷暑を考慮し中井町での伐り出し作業はなし	
場所	南足柄郡中井町	
年間スケジュール (単発イベントの場 合は実施日)	9:00 京浜急行 上大岡駅集合（10:00 セブンイレブン中井遠藤店） 10:30 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散	
一般募集の有無	有：定員未定（NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集）	
参加費の有無	有：@500円（中井集合）・1,000円（上大岡集合）	
収入見込額(a)	参加費 竹細工より補填 収入計)	20,000円 @500×4人×10回 40,000円 @1,000円×4人×10回 104,100円 164,100円
支出見込額(b)	賃借料 通行料 燃料費 消耗品費 支出計)	104,500円 @10,450円×10回 22,600円 @2,260×10回 17,000円 @1,700×10回 20,000円 164,100円
収支見込額(a-b)	0円	
備考(他団体との連携 等を適当に記入)		
作成年月日	2025年7月22日	作成者名 下山康博

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー（松村、下山、吉武、中林）		
目的 (簡易書きで記入)	・里山保全活動に新たなメンバーが加わり、活動団体の活性化を図ることができ る。 ・レンジャーズ活動が推進される。		
目標	・レンジャーズを延べ9回、里山等保全活動に派遣する。 ・活動を通して運営スタッフやレンジャーズリーダーとなりうる人材を育成する。		
内容	・レンジャーズ受け入れ団体となる環境活動団体と活動内容、日程の調整をおこな い、レンジャーズ隊員を派遣する。 ・レンジャーズリーダーを育成する。 ・森づくりボランティア体験事業（横浜市）と連携し参加案内を発信する。 ・よこはまの森助っターズとの相互連携を図る		
日時	・レンジャーズ派遣：年間スケジュールのとおり ・森づくりボランティア体験事業の案内発信：6回		
場所	レンジャーズ派遣先：受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照)		
年間スケジュール (単発イベントの場 合は実施日)	日付	団体名	活動場所 希望する活動内容
	10/25 (土)	瀬上さとやま森の会	瀬上市民の森 ヤマアガエル産卵湿地の草刈
	10/26 (日)	恩田の谷戸ファンクラブ	恩田の谷戸 昔ながらの脱穀機で脱穀
	11/3 (月祝)	わかぎの会／谷矢部池公園 愛護会	谷矢部池公園 里山保全
	12/7 (日)	桜ヶ丘・水辺のある森再生 プロジェクト	桜ヶ丘緑地 里山保全
一般募集の有無	レンジャーズ登録を原則、1回あたり10～20人 レンジャーズ登録はメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ		
参加費の有無	無料		
収入見込額(a)	事業収入 <計>	52,000円 52,000円	森づくりボランティア体験事業から
支出見込額(b)	謝金 <計>	52,000円 52,000円	@13,000円×4回 リーダー派遣 (交通費含む)
収支見込額(a-b)	0円		
備考(他団体との連携 等を適宜に記入)	レンジャーズ名簿管理：自然環境復元協会 受入団体：恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上さとやまの会、桜ヶ丘・水辺のある 森再生プロジェクト、わかぎの会、横浜にとんぼを育てる会		
作成年月日	2025年7月20日	作成者名	島村雅英

プロジェクト名	間伐材を活かすグリーンウッドワーク		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	下山康博、中林博志		
目的 (簡易書きで記入)	・川井緑地等の活動で産出する間伐材や生育する植物資源等を有効活用すること で、持続的な里山保全及びその活動が推進される。		
目標	・里山保全活動で産出した材の有効活用を図るための技術を習得する ・ワークショップの開催により、活用方法の普及を図る。		
内容	①グリーンウッドワーク ワークショップの開催 有償のワークショップの開催 ②グリーンウッドワークショップの自主活動 ワークショップ参加者による自主活動		
日時	9:30～16:00		
場所	にいはる里山交流センター、川井緑地		
年間スケジュール	原則第3日曜日 9/21、10/19、11/16、12/14、1/18、2/15、3/15、4/19、5/17、6/21		
一般募集の有無	有：定員未定（NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集）		
参加費の有無	ワークショップ 参加費4,000円を予定		
収入見込額(a)	緑の募金 参加費 <計>	90,000円 240,000円 330,000円	広報費、資材費 @4000円×5人×10回(WS) @1000円×4人×10回(自主活動)
支出見込額(b)	広報費 資機材費 講師経費（謝金、交通費） その他諸経費 <計>	20,000円 70,000円 200,000円 40,000円 330,000円	
収支見込額(a-b)	0円		
備考(他団体との連携 等を適宜に記入)			
作成年月日	2025年7月20日	作成者名	島村雅英

プロジェクト名	森と畑と音楽と		
リーダー	ノラ		
リダー	中川 櫻		
目的	・休耕農地を利用することで地域環境や農地を維持する。 ・参加者が一連の農作業を体験することで、作物を育て収穫する喜びを体感する。 ・常時作付けが可能ないように土地を管理する。		
目標	・イベント参加者ではなく、準備運営に携わるスタッフの確保 ・マーケティングやマルシェなど生産物の消費先（販路）の拡大 ・畑の効率的な利用方法の検討および実践		
内容	・農地管理（草刈り・草取り・耕耘）・作物の育成（作付け・施肥・防虫管理・収穫） ・収穫体験の実施 ・林産物や伐採樹木の活用 ・音楽会の実施		
日時	基本的に毎週日曜日 10:00～17:00（土曜日活動になることもあり：要連絡）		
場所	厚木市七沢・伊勢原市日向		
年間スケジュール	7月 野菜収穫 草刈り 種まき 田んぼの草刈り 8月 夏野菜収穫 草刈り 畝作り 種まき・苗植え付け 水田草取り 9月 草刈り 苗植え付け 種まき 10月 草刈り 草取り 収穫作業 稲刈り 12月上旬 収穫祭 11～2月 収穫作業 クラフト（伐採した木材等の活用） 2～3月 耕耘・クラフト・イベント出展・こども自然体験プログラム（川遊び・昼食作り） 4月 種まき 中旬～下旬 草刈り 耕運 施肥 5月 苗植え付け 種まき 草刈り・畝作り 水田のための水路清掃 4～6月 種まき ニンニク収穫 苗植え（サツマイモ） 草刈り 6月 田植え（田植え体験）		
一般募集の有無	有（定員未定）		
参加費の有無	有（参加プログラムによる）		
収入見込額(a)	農業体験委託 活動参加費 <計>	60,000円 80,000円 140,000円	@500円×160人
支出見込額(b)	購入費 借地料 燃料代ほか <計>	70,000円 40,000円 30,000円 140,000円	種苗 20,000円、肥料 5,000円、資材 45,000円 地主4名へのお礼 ガソリン・オイル代 20,000円、雑費 10,000円
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2025年8月2日	作成者名	中川 櫻

プロジェクト名	もったいないから竹細工		
リーダー	ムラ		
リダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	アドバイザー：小田切一明・小林準治・三宅健也・清水富紀雄 アシスタント：・田下泰人・中條真樹子・渡邊剛毅		
目的 (箇条書きで記入)	・竹林整備で排出された竹材を有効活用する ・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る ・竹材の価値を見出すことで、竹林整備への人員を誘う ・会員を勧誘し、会費収入を増やす		
目標 (今期の具体的な目標 を箇条書きで記入)	・新しいアドバイザーの育成&増員を考える ・次世代を担うマネージャーの発掘		
内容	竹かご教室：四海波かご作りのワークショップに特化し、修了後は工房作業への参加を促す 竹細工 工房：竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等 WSを行う 毎月第4土曜日（竹かご教室）13:00～17:00 毎月第1水曜・第2土曜・第3木曜・第4月曜（工房作業）9:30～12:00/13:00～16:30 はまどま		
年間スケジュール (単発イベントの場合 は実施日)	有：定員12名（NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集） 有：1,000～4,000円		
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記 すほか、合計も記入)	参加費 会費収入 収入計	96,000（竹かご教室） 1,620,000（竹細工工房） 279,000 2,008,000	@4,000×2人×12回 @3,000×平均参加数×4回/月×12回 ※会費収入は昨期実績
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記 すほか、合計も記入)	はまどま使用料 経費 支出計	200,800 1,807,700 2,008,000	
収支見込額(a-b)	0円		
備考(他団体との連携 等を適宜に記入)			
作成年月日	2025年7月22日	作成者名	下山康博

プロジェクト名	はまどまで土間仕事		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	矢野真美		
目的	・手仕事を忘れないようにする。 ・手づくりの喜びは何にも代えられない事を実感する。		
目標	・作ったものの共有やオリジナルレシピなど、積み重ねてきたものをまとめる。 ・同じものを作っても、こんなに味が違うという気づきからの、食への探求、追究を深める。		
内容	神奈川県産の素材を使って、食生活を豊かにする知恵を学びあう。		
日時	季節ごとのタイミングで		
場所	はまどま		
年間スケジュール	四季になぞらえて開催予定。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費 <計>	70,000円 70,000円	@3,500円×5名×4回
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	66,000円 4,000円 70,000円	@500円×2時間×4回
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2025年7月21日	作成者名	矢野真美

プロジェクト名	街なかの土間企画応援・地域連携		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	松原優佳		
目的	里山について学べたり、里山文化を体験できたりする「街なかの里山の入口」はまどまを有効に活かすことにより、都市部に「里山とかわる暮らし」を普及させ、横浜の里山保全に貢献する。		
目標	・はまどまで、エリア型（時田地区周辺の方対象）を1本、テーマ型（市域・県域の方対象）を6本の企画を開催する。 ・時田地区において、はまどまを利用・活用する方を増やす。		
内容	・はまどまでにて実施する企画の発掘・支援 ・はまどまでにて実施する企画への参加の促進 ・時田地区周辺の機関・組織（町内会・子ども食堂・放課後キッズクラブなど）との連携 ・はまどまオープンデイの実施		
日時	・企画により異なる（年間延べ40回） ・地域連携：地域の行事の日程による（年間4件） ・はまどまオープンデイ：年3回（8月・12月・4月）		
場所	はまどま		
年間スケジュール			
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	はまどま運営協力費 光のぶろむなあと参加費 会費 よこはま夢ファウンド <計>	78,000円 25,000円 12,000円 100,000円 215,000円	@1,000円×18時間+@700×50時間+@500×50時間 @500×50名 3,000円×4名
支出見込額(b)	はまどま運営費 パンフレット制作・印刷費 会議費 消耗品費 予備費 <計>	78,000円 74,000円 9,000円 24,000円 30,000円 215,000円	@500×18回 光のぶろむなあと 15,000円、ハロウィン 3,000円ほか
収支見込額(a-b)	0円		
備考（他団体との連携等を適当に記入）			
作成年月日	2025年7月20日	作成者名	松原優佳・松村正治

プロジェクト名	ともに生きるためのポタニカルトーク（仮）		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	松村正治		
目的 (簡潔書きで記入)	・多様な生きものとともに生きることに関わりを感じるセンスを磨く ・さまざまなルーツを持つ人びとと、一つの地球の上で生きるスキルを身につける ・ネイチャーボジティブのための里山づくりに賛同する人を増やす		
目標 (今期の具体的な目標を簡潔書きで記入)	・自然の恵みと地域の力の生かして、里山、菜園、花壇などをつくることに興味を持ち、学び合うコミュニティをつくる。		
内容	・ゲストに植物に関して話題を提供してもらい、参加者同士が学び合う。 (飲み物や軽食を提供したい) キーワード：再生型農業、アグロエコロジー、地域性苗木、近自然工法、エディブル菜園、コミュニティガーデン、生ごみコンポスト、CSA など ・会場参加のほか、Zoom 参加にも対応する。 ・トークに関連してゲストが関わる場所での活動への参加とセットで企画する。		
日時	平日 18:30-20:30		
場所	はまどま+オンライン ※オンラインで、フィールド見学会も企画したい		
年間スケジュール	2 か月に 1 回の開催予定		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	参加費収入 <計>	70,000 円 70,000 円	@ 1,000 円×14 名×5 回 ※会場 7 名+オンライン 7 名想定
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	講師謝礼 はまどま使用料 管理費 <計>	50,000 円 10,000 円 10,000 円 70,000 円	@10,000 円×5 回 @500×4 時間×5 回
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携等を適宜に記入)			
作成年月日	2025 年 7 月 21 日	作成者名	松村正治

第 4 号議案 第26期（2025年7月～2026年6月）予算

[収入]

科目	第24期決算額	第25期予算	第25期決算額	第25期予算額	備 考
会費	513,000	600,000	586,000	600,000	運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*140
寄付金	759,119	100,000	69,400	100,000	
助成金	1,934,042	1,800,000	889,901	1,350,000	緑の募金560千円、よこはま夢ファンド570千円（2025年度）
自主事業収入	1,910,600	2,150,000	1,982,150	2,150,000	竹細工1,716千円、グリーンウッド 240千円、各事業参加費等
販売収入	0	50,000	0	10,000	資材販売
受託事業収入	9,494,709	8,400,000	8,601,332	8,400,000	森ボラ体験4,125千円、ビオトープ支援1,210千円、トンボ池管理9,85千円等
雑収入	2,713	0	6,519	0	
当期収入合計 (A)	14,614,183	13,100,000	12,135,302	12,610,000	

[支出]

	科目	第23期決算額	第24期予算	第24期決算額	第25期予算額	備 考
事業人件費	給料手当	0	0	0	0	研究員給料
	臨時雇賃金	0	0	0	0	
	役員報酬	0	0	0	0	
	法定福利費	0	0	0	0	社会保険料、労災保険料
事業経費	売上原価	1,553,460	1,600,000	501,090	500,000	事業仕入、販売仕入
	調査費	360,000	500,000	480,000	80,000	理事長@40千円*2、研修会参加
	事業委託費	5,175,520	4,600,000	5,771,797	5,000,000	受託事業、山仕事、デザイン料、外注費
	諸謝金	3,080,833	3,000,000	2,929,966	3,000,000	講座講師謝礼
	印刷製本費	6,639	20,000	43,088	20,000	報告書印刷、コピー代
	支払手数料	78,822	60,000	45,240	50,000	振込手数料、ネットバンキング25千円
	賃借料	0	30,000	27,950	30,000	レンタカー、チャーター、会場借上
	保険料	138,389	190,000	212,686	210,000	グリーンボランティア保険、イベント保険、事業活動総合保険
	消耗品費	1,290,655	450,000	807,839	300,000	山仕事道具、工具
	器具備品費	0	0	0	0	
	水道光熱費	84,223	100,000	92,683	100,000	
	修繕費	0	50,000	51,400	50,000	
	会議費	0	10,000	78,195	10,000	会議室料、茶代等
	地代家賃	949,338	950,000	942,261	950,000	家賃@82,500円*12を収入費で按分
	旅費交通費	291,564	150,000	568,144	550,000	講師旅費、竹運搬
	通信運搬費	133,750	150,000	183,460	150,000	郵送料、備品送料、電話・通信、ネット使用料
	減価償却費	13,874	10,000	9,906	10,000	クローラー式運搬車
	広告宣伝費	0	40,000	0	40,000	
	租税公課	525,800	500,000	484,150	500,000	消費税
	雑費	0	5,000	0	5,000	
管理費	給料手当				400,000	事務局長40千円*10
	業務委託費	268,000	270,000	220,000	270,000	経理・決算・納税委託
	印刷製本費	6,078	10,000	3,565	10,000	
	支払手数料	26,694	30,000	6,942	10,000	
	消耗品費	33,700	30,000	55,643	50,000	文具、衛生用品
	水道光熱費	3,607	10,000	4,765	10,000	
	地代家賃	40,662	40,000	48,439	50,000	
	旅費交通費	81	10,000	97	10,000	
	通信運搬費	45,385	40,000	49,218	50,000	電話・通信、ネット使用料
	諸会費	35,400	30,000	25,400	30,000	町内会費、ネットワーク団体会費
	調査費	4,400	5,000	4,400	5,000	
	会議費	1,402	0	956	5,000	
	雑費	500	0	720	0	
	租税公課	50,500	50,000	1,470	10,000	
経常外	固定資産除却損	0	0	0	0	
	前期損益修正損	0	0	0	0	
	前期損益修正損			211,000		
	法人税、住民税及び事業税	88,900	140,000	74,500	140,000	
	当期支出合計 (B)	14,288,176	13,080,000	13,936,970	12,605,000	
	当期収支差額 (A)-(B)	326,007	20,000	-1,801,668	5,000	

第 5 号議案 役員選任

現在の役員（理事・監事）の任期が 2025 年 8 月 31 日で満了となるので、下表のとおり、全員重任とする。なお、定款上、理事は 5 人以上 8 人以内、役員の任期は 2 年であり、再任は妨げない。

理事長および副理事長は理事の互選によるため、通常総会後の理事会で決定する。

理事	石田 周一	特定非営利活動法人新治里山「わ」を広げる会
理事	島村 雅英	横浜エコアップ研究所、認定 NPO 法人自然環境復元協会 理事長
理事	鈴木 美奈	graphic design 37
理事	中川 樺	中学校理科教員
理事	中林 博志	社会福祉法人あおぞら 理事長
理事	松村 正治	中ヶ谷戸オフィス、NPO 法人 Life Lab Tama 理事・事務局長
理事	三好 豊	神奈川・緑の劇場 代表
理事	吉武 美保子	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会 事務局長
監事	平石 真司	NPO 法人日本の竹ファンクラブ 理事長

第 6 号議案 事務局の組織・運営

これまでは理事長が法人事務を中心的に処理していたが、2025 年 9 月 1 日に就任する理事長が業務の統括に集中できるように、法人の事務部門を管理する事務局長を置く。